

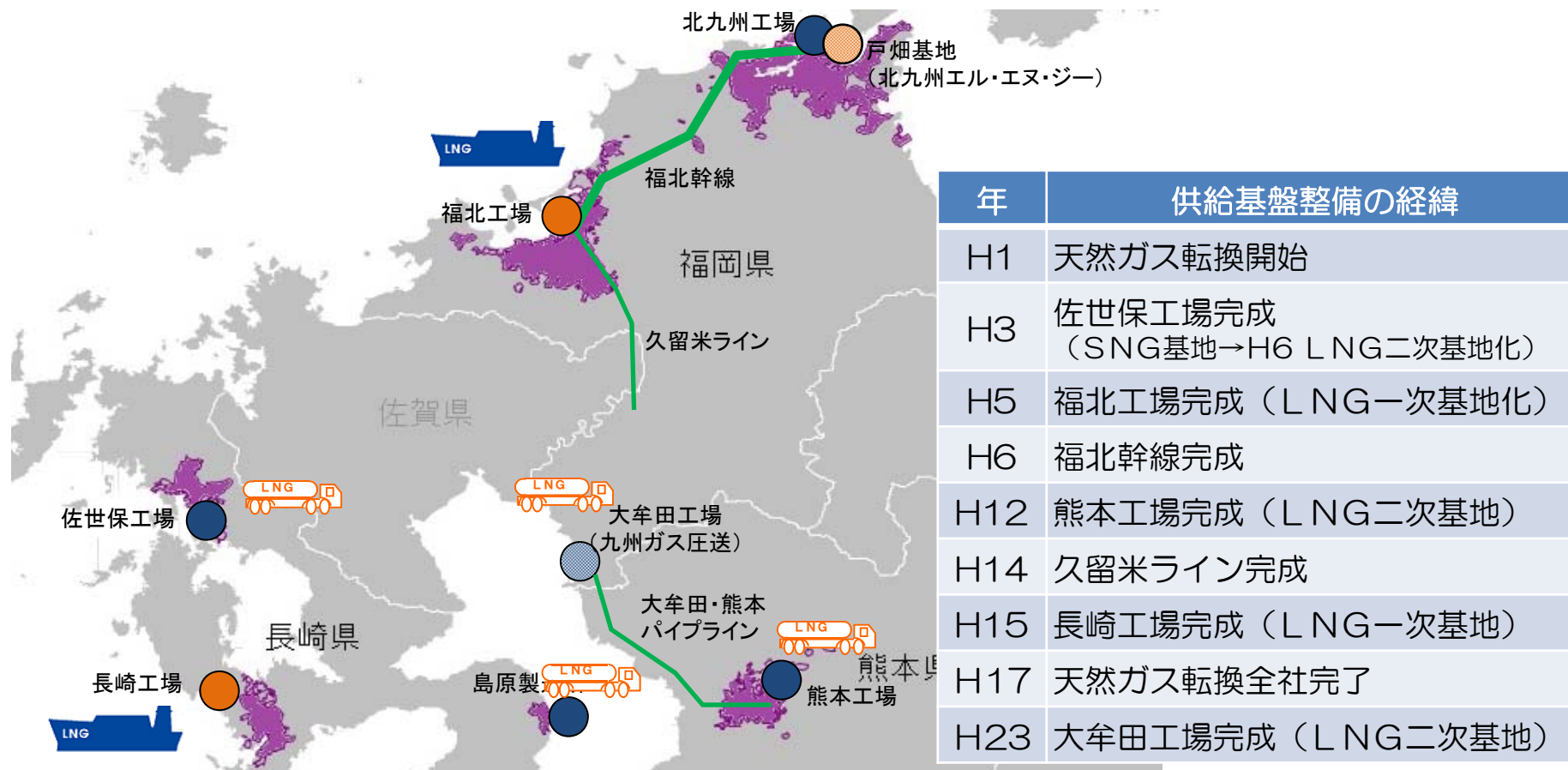
第27回ガスシステム改革小委員会 説明資料

平成28年1月12日

 **西部ガス株式会社**

導管整備の状況

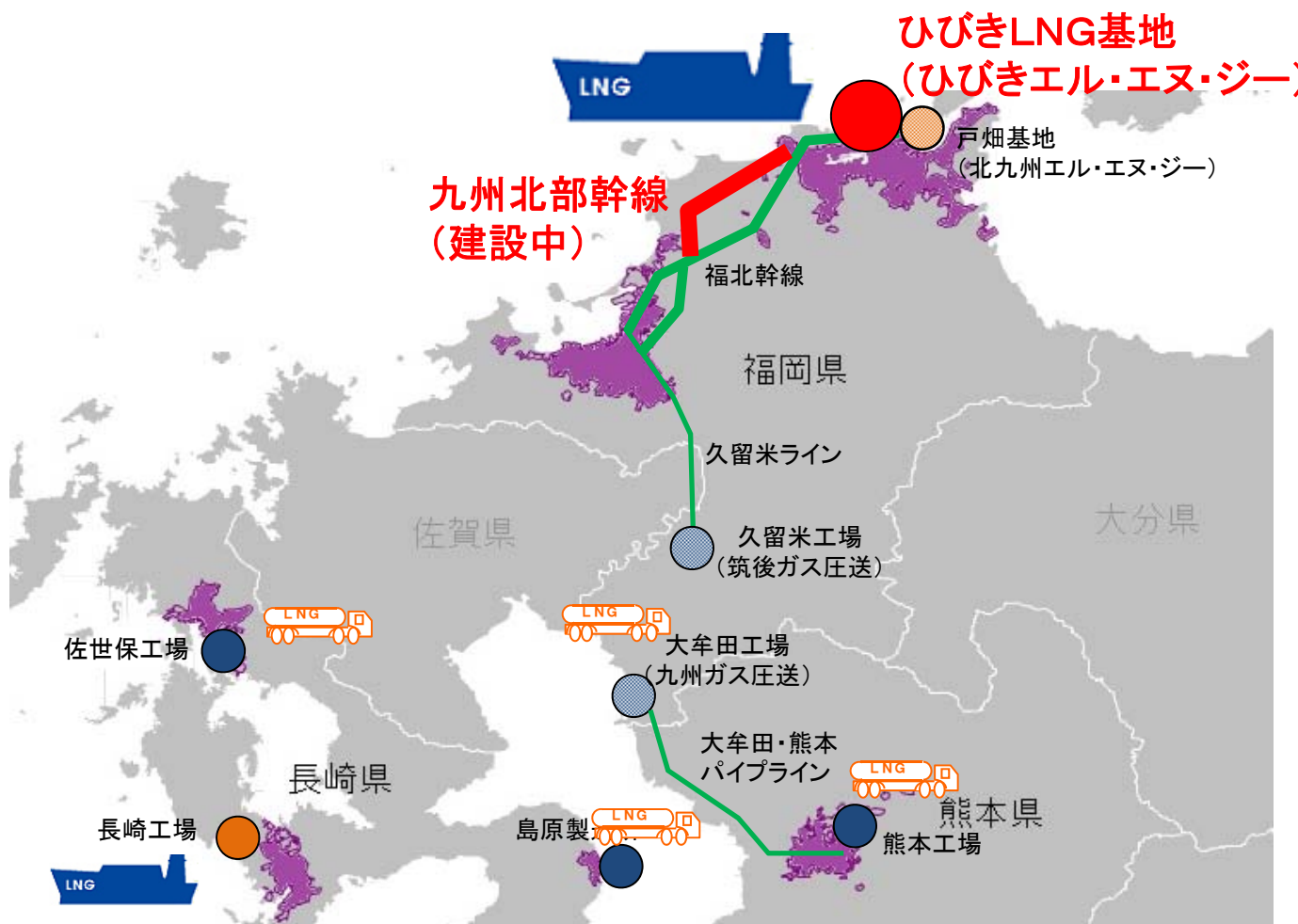
ひびき基地完成前の供給体制



6つのエリアに点在する需要に応じ、長年、天然ガス供給基盤の整備に努めてきた。福岡・北九州は高圧導管で連結し、福北工場からの送出、戸畑基地からの卸受けにより供給。福岡・長崎は小型船、熊本・佐世保・島原はタンクローリを活用。

導管整備の状況

現在の供給体制と整備計画



H26にひびきLNG基地が完成し、大型船運用による原料費の低廉化を実現。
今後は、福岡・北九州間の幹線を強化し、セキュリティの向上と需要拡大に対応。2

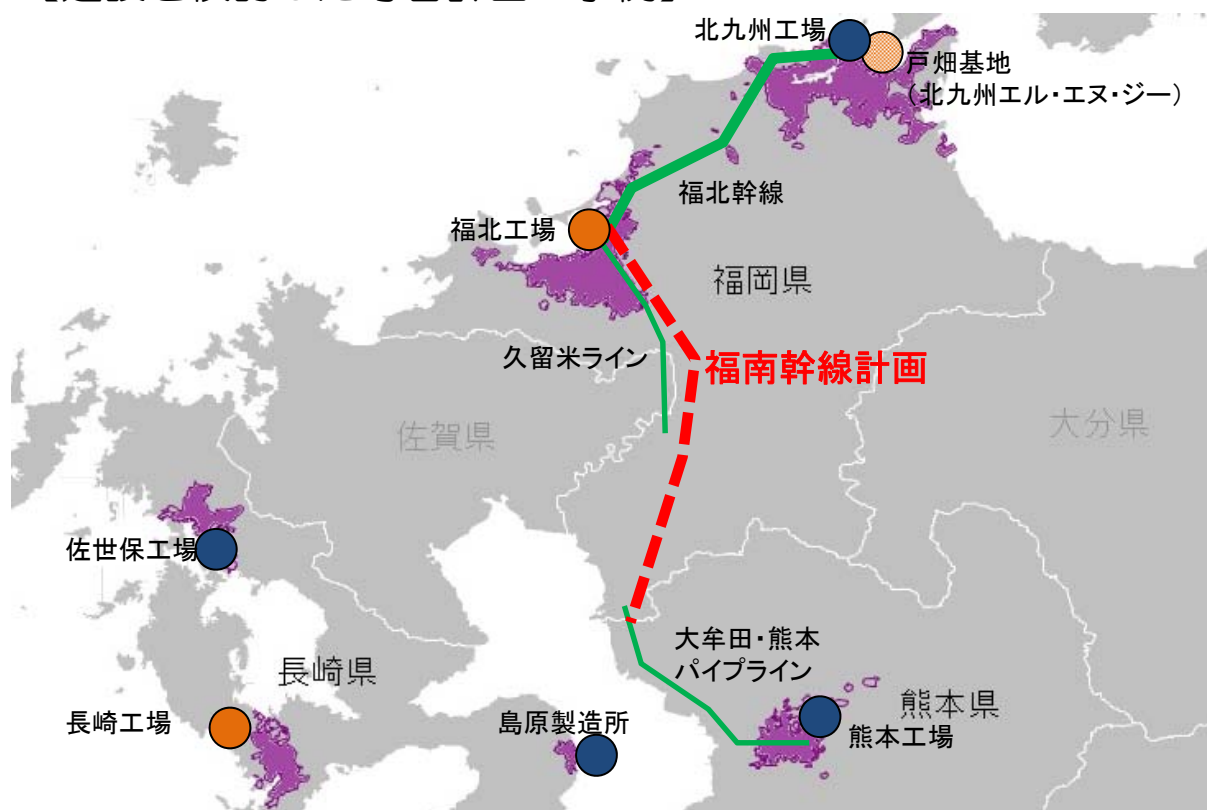
今後の導管整備について

長期的な課題

分散したエリアに対する
効率的な供給体制の構築が必要

各エリアを導管連結
することも検討課題

【建設を検討した導管計画の事例】



平成17年7月
広域導管ネットワークの形成に
よる供給能力の向上を目指し、
福南幹線建設計画を公表

- 需要動向の変化
- 最適な供給体制の再検討

平成19年11月
当面の需要増には既存設備の増
強で対応することとし、福南幹
線建設計画の長期延期を表明